

ア

両

6画 両-0

画 ア 夨

②7508
①897E

亜

7画-5

画 ア 夨 夨

①1601
④4E9C

ア
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1

亜

亜 象形 地下に掘られた墓を上から見た形から、つぐの意に用いる。

亜流 ① 次ぐ。次の。準ずる。第二番目の。「亜綱・亜聖」

亜熱帯 ② 「亜細亜」の略。欧亜・東亜

外国語の音訳に用いる。「亜米利加」が「亜爾然」

亜細亜 ④ その他。「亜鈴」(啞鈴)。「白亜(り白垩)」

亜細亜 「亜細亜」が「亜細亜」

亜細亜 「亜細亜」が「亜細亜」

亜鉛 エ 元素の一。元素記号 Pb。電極、めっき材料、黄銅などの合金材料にする。

聖 聖人に次ぐすぐれた人。特に孔子に

父 父に次いで尊敬する人。あは。出典

「史記項羽本紀」より。楚の項羽が臣下の

范増 を殺して呼んだことから。

亜麻 ア アマ科の一年草。種子から亜麻仁(ま

油、茎からは繊維をとる。ヌメゴマ。

亜流 リ ヲ ① 一流の人の模倣をするだけで、

独創性がないこと。また、その人。

② その流派に属する人。

亜鈴

8画(B)-5

画 ア 夨 夨

①1604
④963F

阿

阿

阿

①1604
④963F

阿 漢字「阿」は「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿 片仮名「ア」は「阿」の行書体の偏。

阿 多福猫「阿亀」が「阿漕」が「阿蘭陀」が「阿弗利加」が

阿 「阿」の行書体の偏。

阿世 ア 世の中の運勢におもねること。

阿堵物 アト 銭の異名。阿堵。出典 中国。

阿婆擦れ あば 身ずれが悪いこと。また、そ

阿鼻叫喚 アビヨウカン 地獄に落ちた亡者

阿付 ア へつらい従う。おもねる。「迎合」

阿片 ア ケシの未熟な果実から得るゴム状

阿呆 アドモ 愚かな人。ばか。

阿房宮 アボウ 中国 秦の始皇帝が渭水い

阿弥陀 アミタ 浄土教の中心をなす仏。

阿諛 エリ 相手の気に入るようなことを言った

阿波 あわ 旧国名の一。徳島県全域に相当。阿

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

娃娃 ヲ 9画-6 画 ア 夨 アイ 夨

啞 ハクケル オア

11画 口-8
 訓 おし

【意味】①口がきけない。おし。啞者(おし)は「啞然(おし)」。②カラスの鳴き声や、驚いて発する声などの形容(「啞然」)。

①1602 ②1508
 ③5516 ④555E

啞者 シヤ

言葉や話すことのできない人。予想もしなかった事態に驚きあきれてものも言えないさま。

啞然 ゼン

「啞鈴」レイ。「啞鈴(おし)」に同じ。

聖 ハクケル オア

11画 土-8
 訓 しろつち

【意味】白色の土。「白聖(おし)」。

①6233 ②5804
 ③5320 ④5440

婀 ハクケル オア

11画 女-8
 訓 ア(優) 奥(奥)

【意味】たおやか。しなやか。「婀娜(おし)」。

婀娜 ダア

「女(おし)がなまめかしく色っぽいさま。」「一な姿」。

極 ハクケル ヤ

12画 木-8
 訓 ア(優) 奥(奥)
 また

蛙 ハクケル ヲ

12画 虫-6
 訓 ア(優)・ワ(優)・エ(エ) 奥(奥)
 かえる。かわず

【意味】①かえる。無尾目の両生類の総称。かわず。「蛙鳴(おし)」。②みだら。「蛙声(おし)」。③蛙(おし)の音。④みだら。「蛙声(おし)」。⑤みだら。「蛙声(おし)」。⑥みだら。「蛙声(おし)」。⑦みだら。「蛙声(おし)」。

蛙声 セイ

蛙(おし)の鳴く声。また、みだらな音楽。蛙鳴(おし)・蟬(おし)・噪(おし)。「蛙(おし)や蟬(おし)が鳴き立てること」。

蛙鳴蟬噪 アメイ

蛙(おし)の音。また、みだらな音楽。蛙鳴(おし)・蟬(おし)・噪(おし)。「蛙(おし)や蟬(おし)が鳴き立てること」。

痾 ハクケル ヲ

13画 疒-8
 訓 ア(優) 奥(奥)
 やまい

【意味】やまい。病気。「痾病(おし)」。②みだらな議論。

鴉 ハクケル ヲ

15画 鳥-4
 訓 ア(優) 奥(奥)
 からす

【意味】①からす。くちばしが大きき黒色の鳥。「鴉(おし)」。②色が黒いこと。「鴉(おし)」。③寒鴉(おし)。「鴉(おし)」。④「鴉片(おし)」は、麻薬の一種。英語 opium の中国での音訳。

鴉鷺 ロア

①鴉と鷺(おし)。②黒白。

銛 ハクケル ヲ

16画 金-8
 訓 しころ

【意味】しころ。かぶとの左右や後方に垂らした、首筋をおおう部分。「銛(おし)」。②黒白。

闕 ハクケル ヲ

16画 門-8
 訓 ア(優)・ツ(優)
 ふさぐ。とどめる

【意味】①ふさぐ。とどめる。入り口を閉じる。「闕(おし)」。②梵語の音訳に用いる。「闕伽(おし)」。③供える水。また、その水を入れる器。「闕伽(おし)」。

【意味】①ふさぐ。とどめる。入り口を閉じる。「闕(おし)」。②梵語の音訳に用いる。「闕伽(おし)」。③供える水。また、その水を入れる器。「闕伽(おし)」。

闕伽棚 アカ

仏に供える水などを載せる棚。

アイ

アイ(優) 奥(奥)
 あわれ。あわれむ。かなしい。かなしむ

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

【意味】①あわれむ。かわいそうに思う。「哀憫(おし)」。②かなしい。かなしむ。かなしい。かなしむ。

哀訴 ソイ 相手の同情心に訴える。哀願。

哀悼 アイ 人の死を悲しみ悼む。哀惜。「ー」の意を表する。「深くーする」

哀憫・哀愍 ビン 悲しみあわれむ。あわれみ、情けをかける。

哀楽 アイ 悲しみと楽しみ。「喜怒哀」

哇 ワイ 9画 口-6
アイ(嘆)・ワ(嘆)

埃 エイ 10画 土-7
ちり・ほこり

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

挨 アイ 10画 手(扌)-7
おす

歎 トウ 11画 欠-7
アイ(嘆)・ウ(嘆)

歎 トウ 11画 欠-7
アイ(嘆)・ウ(嘆)

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛 アイ 13画 心-9
いとしい・まなめる・おしむ・かなしい

愛顧 コイ ひいきにする。目をかける。多々、御愛顧の形で目をかけられる側が用いる。永年の御へ感謝いたします。

愛好 コウ ある事を好み楽しむ。「平和一家」

愛国 コク 自分の国を愛すること。「一心一」

愛妻 サイ ①愛している妻。②妻を愛し大切にすること。「一家」

愛日 ジツ ①冬の日の光。②日時を惜しんで父母に孝養を尽くすこと。**出典** ①は氏氏伝文公年注の「冬日可愛・夏日可畏」より。②は揚子法言孝至の「孝子愛日」より。

愛称 ショウ 親しみをこめて呼ぶ呼び名。ニックネーム。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛人 アイジン 「我的愛人」と、堂々と女性を他人に紹介する中国人。日本では夫婦ではない親密な異性をさすことから、なんだか公にできないうしろめたさが感じられる言葉だが、中国語では立派な正妻の位置を獲得しているものも、それは中国大陸だけの意味拡大によるもので、台湾や香港ではまだ日本語と同じ意味で使われている。

愛唱 アイウ
その歌が好きでよく歌う。「一歌」シヨウ

愛誦 アイ
詩文を好んで、常に口ずさむ。シヨウ

愛情 ジョウ
①人や物をいとおしみ、心から大切に思う気持ち。②異性を恋しく思う心。「ほのかな」を抱く。

愛人 アイ
①恋愛関係にある異性、情人。②人間を大切なものと考え、敬天。

愛惜 アイ
①あるものを愛して、大切にすること。②名残惜しむ。七キ

愛想 ソイ
①人に好感をもたれる対応の仕方を言う。②相手に抱いている好意。「がいい」を特別に心遣いしてなし、心付けなど。おあいそ「何の—もございませんで」。④飲食店などの勘定、勘定書。おあいそ、注「あいそ」とも。

愛憎 ソウ
愛することにくむこと、愛とくしみ。「相半ばする」大切なものとしてしまっておく。

愛蔵 ソウ
「の品」人や物に心をひかれる。あいじゃ

愛着 チャク
特定の書物、雑誌などを気に入ってよく読む。「書」として読む。

愛撫 アイ
いとんと、なでたりさすったりする。「やさしく—する」

愛別離苦 アイ
兄弟、妻など愛する者と別れる苦しみ。ク

愛用 アイ
気に入っていつも用いる。使いつけ。「の万年筆」

愛欲 アイ
①異性に対する性的な欲望、情欲。②「仏」対象に強く執着する。特に、肉親に強く執着する。

隘 [バウクル] エ
①狭い道、狭く険しい道。②障害に狭まる。隘路。アイ (漢) 13画 目-10 画

隘路 ロイ
なるもの。難関、ネック。アイ (漢) 13画 目-10 画

鞋 カイ (一四ページ) アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。「暖気(ぬき)」。アイ (漢) 16画 口

嗔 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

靄 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

暖昧 [ウケル] エ
①おおく。胃の中にあまったガスが口から外へ出るもの。げつぷ。アイ (漢) 16画 口

雲愛
[イン] 雲
25画 雨-17
アイ(愛)

意味「鰻鱈のいしは雲がたなびくさま。また、雲が厚いさま。鰻鱈のいし雲や霞など盛んにたなびくさま」

あい

藍
[ラン] 二(二四ページ)

鰻
24画-13
[国] 鰻 あい
④9388
⑤9668

意味「鰻鱈のいしは、子持ち鮎の塩漬けを水洗いして干した食品」

あおい

葵
[キ] 一(八一ページ)

あおる

叩
[コウ] 二(三四九ページ)

あか

塗
[カン] 二(四八ページ)

赭
[シヤ] 四(八一ページ)

あかぎれ

戦
[クン] 二(六五ページ)

あかざ

藜
[レイ] 二(八一ページ)

あかね

茜
[イン] 九(十-六)

意味「根を赤色の染料とする草の意。あかね。つる性の多年草。根から赤い染料を作る。また、あかね色。あか。「茜雲・茜蜻蛉」

茜雲 あかね 朝日や夕日を受けて茜色に照り映える雲。

アク

倭
[イン] 11画 人(イ)-9

意味「倭促(わ)は、気ぜわしく事をなさすさま。鯨」

悪
11画 心-7
[悪] 12画 心-8
[人名]

悪

旧字 [悪] 12画 心-8
[人名]

意味「わるい。よくない。あし。『アク』悪事・悪習・悪心・悪銭・悪党・悪法・悪漢・偽悪・極悪・罪悪・邪悪・善は略体」

心・悪銭・悪党・悪法・悪漢・偽悪・極悪・罪悪・邪悪・善は略体

悪・勧善懲悪「悪あし様さ、悪知恵・性悪わらう」②いやな。好ましくない。「アク」悪疫・悪縁・悪妻・悪臭・悪所・悪女・悪夢」③劣っている。みにくい。「アク」悪筆・悪文・悪貨・醜態が、粗悪・俗悪」④あらあらしい。ひどい。「アク」悪僧・悪童・悪哉苦問(あくくもん)悪」⑤にくむ。さらう。にくい。「オ」嫌悪・好悪(こうあく)差悪(さあく)憎悪(にくみ)自己嫌悪」⑥気分がわるい。「オ」悪寒(あくかん)悪心(あくしん)悪阻(あくそ)

悪(ア)の「いすくんぞ」なんぞなどと読み疑問反語の意を表す。どうして。『國史記』宿衛伝「惡能施于後世哉(いすくんぞ)いすくんぞ」して後世に名を知られることができるだろうか」④「いすくにか」と読み、場所についての疑問・反語の意を表す。どこに。『國論語』上「君子乎(いすく)成(なり)名(な)を成(なり)す(す)る(す)なり」

【悪意】悪(ア) ①他人に害を与えようとする心。わるき。②好意。③「法」法律上の効果に影響する一定の事実を知っていること。道徳的善悪とは別なもの。④の第三者。⑤善意

【悪行】アク 悪いおこない。法や人の道に背いたおこない。あつこう。

【悪業】アク (仏)悪い報いを招く、悪いおこない。

【悪事】アク 悪いおこない。「」が露見する

【悪事あく千里を行く】悪いおこないや悪い評判はすぐに世間に知れわたる。悪事千里。『出典』宋の説話集「北夢瑣言」より。

【悪質】アク ①質がわるいさま。粗悪。②不良。③「」がわるいさま。「」な犯罪。④よくない習慣。悪い習慣。悪弊。悪風。「」に染まる

【悪習】アク 風。「」に染まる

【悪習】アク 風。「」に染まる

【悪習】アク 風。「」に染まる

【悪習】アク 風。「」に染まる

部首索引

・本辞典に収録した親字と異体字をその部首順に配列した。異体字は親字のページ数で示した。赤色で示した漢字は常用漢字である。
 ・同部首の場合は総画数順とした。総画数は漢字の下に算用数字で示した。部首は康熙字典の部首の順に配列した。
 ・「瓜」は六画と数え、六画の部首の最後に配置した。また、「臣」は七画と数え、七画の部首の最後に配置した。
 ・くさかんむり(艹)は三画と数えたが、康熙字典の部首に準じて六画(艸)部に配置した。また、しんにょう(辶)は、それぞれ四画・三画と数えたが、同じく康熙字典の部首に準じて七画「辵」部に配置した。

丘	且	不	丑	丐	与	万	丈	上	三	下	丁	七	一
5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	1
三〇	三七	九〇	七三	〇三	二〇	二七	奏四	奏三	四八	八	大二	四九	三七

、	部	串	卯	丰	中	个	一	部	並	兩	丞	丙	丕	卅	世
7		5	4	4	3	3			8	6	6	5	5	5	5
云		四	二五	七三	〇	〇			二〇六	二六	五五	〇三三	四九	六〇	六〇

乎	乏	么	及	久	乃	父	ノ	一	部	井	主	丹	之	丸	、
5	4	3	3	3	2	2	1			5	5	4	3	3	1
三九	〇五	二二	二二	二二	七三	二六	〇三三			六二	四八	四〇	一六三	七三	七三

亂	乾	乳	乳	乱	也	乞	九	乙	一	部	乘	乘	乘	帀	乍
13	11	8	8	7	3	3	2	1			10	9	8	7	5
二四	一四	八五	八五	二四	二〇	一六	二〇	大			五五	五五	二一	三三	八二

互	五	云	于	于	二	事	事	争	予	了	亅	一	部
4	4	4	3	3	2	8	7	6	4	2	1		
三〇	三九	四	七五	四	八六	四〇	四〇	六五	三〇	二〇	二八		

亦	交	亥	亢	亡	亡	一	一	部	些	亟	亞	亜	巨	互	井
6	6	6	4	3	3	2			8	8	8	7	6	6	4
二七	三三	二七	三八	〇五	〇五	四二			三九	一	一	三三	三三	三三	六〇

个	今	介	人	亼	亼	亼	亼	亼	亮	亭	京	京	享	亨
4	4	4	2						9	9	9	8	8	7
四四	三六	〇三	五九	二二	二二	二二	二二	二二	二六	八九	三三	三三	三三	三〇

仞	仗	仔	仕	令	全	以	仂	亻	亻	仁	仍	什	仇	仄	从
5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5
〇三	五五	四三	四三	二七	六二	三	二九	〇四	九三	〇六	五五	五〇	二二	七六	五二

件	仰	休	伎	价	佞	伊	全	企	会	付	代	他	仟	仙	仞
6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5
二六	三五	二二	二六	二二	二二	六五	六五	一七	〇一	九四	七六	七六	六六	六六	六〇

伸	住	你	似	伺	作	佐	估	佻	伽	何	佚	位	余	仿	伏	伐	任	佞	仲	倅	伉	伍	
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
五	五〇	四〇	四〇	四九	四九	三三	三〇	二五	八六	八六	三	一五	三三	二〇八	九九	九四	八三	八三	七四	三九	三三	三	

供	佶	侃	佻	佳	佺	佻	依	侖	來	佻	佑	佛	伴	伴	伯	佞	佃	低	佇	但	体	佗
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
三三	一六	一四	一五	〇	〇	三	五	二七	二七	二七	二二	〇四	四九	四九	九三	八六	八三	八六	七六	七五	七五	七〇

係	俸	俠	俄	倂	俎	例	佻	侑	併	侮	佰	佩	佞	佻	佻	俾	侏	侍	侈	使	佼	俠
9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
二七	二六	三四	一〇	七九	六九	二七	二五	二二	〇六	九三	九三	九〇	八六	八四	七〇	六五	四九	四二	四二	三九	三九	三

総画索引

・本辞典に収録した親字と異体字を総画数順に配列した。異体字は親字のページ数で示した。
 ・同画数の場合は部首順とし、部首を小字で示した。
 ・赤色で示した漢字は常用漢字である。
 ・くさかんむり(卩)は、新字・旧字ともに三画と数えた。「瓜」と「臣」が構成要素となる字は、新字・旧字ともにそれぞれ六画・七画と数えた。

二 二 六六	丁 了 二六	乙 九 二〇	乃 三 三三	ノ 义 二六	丁 父 二六	一 七 一七	▼二画	丁 一 二六	乙 二 二六	ノ 一 二〇	、 一 二〇	一 一 二〇	▼二画
匚 匕 二〇	匕 九 二〇	勺 二 二〇	力 二 二六	刀 八 二六	刁 七 二六	口 一 二〇	几 一 二〇	冫 九 二六	冫 一 二〇	冫 一 二〇	冫 一 二〇	冫 一 二〇	冫 一 二〇
丨 个 三三	与 三 三〇	万 一 三〇	丈 五 五五	上 五 五五	三 四 四八	下 一 一八	▼三画	又 一 一八	ム 四 四八	厂 一 一八	冫 一 一八	冫 一 一八	冫 一 一八
刃 三 三〇	刃 三 三〇	凡 三 三〇	凡 三 三〇	亡 三 三〇	亡 三 三〇	子 七 三七	子 四 四〇	也 二 二〇	乞 一 一〇	么 三 三〇	及 三 三〇	久 二 二〇	之 四 四〇
子 五 五四	子 三 三〇	女 三 三〇	大 三 三〇	夕 三 三〇	夕 三 三〇	士 四 四〇	士 四 四〇	口 三 三〇	口 三 三〇	又 三 三〇	十 三 三〇	勺 三 三〇	勺 三 三〇
巾 二 二〇	巳 三 三〇	己 三 三〇	工 三 三〇	川 三 三〇	山 三 三〇	中 三 三〇	中 三 三〇	尸 三 三〇	小 三 三〇	九 三 三〇	寸 三 三〇	子 四 四〇	千 一 一〇
丑 七 七〇	丐 一 一〇	▼四画	才 三 三〇	彳 三 三〇	彳 三 三〇	互 三 三〇	弓 三 三〇	弋 三 三〇	井 三 三〇	廌 三 三〇	广 三 三〇	玄 三 三〇	干 一 一〇
仄 七 七〇	从 三 三〇	今 三 三〇	介 三 三〇	亢 三 三〇	井 三 三〇	互 三 三〇	五 三 三〇	云 三 三〇	予 三 三〇	乏 三 三〇	丹 三 三〇	丰 三 三〇	中 三 三〇
宀 五 五〇	内 八 八〇	冂 三 三〇	六 三 三〇	公 三 三〇	兮 三 三〇	内 三 三〇	元 三 三〇	允 三 三〇	仇 三 三〇	亻 三 三〇	仁 三 三〇	仍 三 三〇	什 三 三〇
土 三 三〇	友 三 三〇	反 三 三〇	双 三 三〇	及 三 三〇	厄 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇	卞 三 三〇
心 五 五〇	弓 三 三〇	弋 三 三〇	弋 三 三〇	弋 三 三〇	幻 三 三〇	巴 三 三〇	巾 三 三〇	尺 三 三〇	尹 三 三〇	允 三 三〇	尤 三 三〇	少 三 三〇	孔 三 三〇
母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇	母 九 九〇

部首名一覧表

(本表においては、この辞書で用いられていない部首の形も、あわせ掲げてある。)

【二画】

いち
ぼう・たてぼう
てん

乙(し)

の
おつ・おつによろ(つりばり)
はねぼう

【二画】

に
なべぶた・けいさん・けいさんかんむり
ひと(にんべん・ひとがしら)
ひとあし・にんによう

人(イ・人)

いる・いりがしら・いりやね
はち・はちがしら

儿

けいがまえ・どうがまえ・まきがまえ

八

わかんむり

冫

にすい

几(八)

つくえ・きによう(かぜかんむり・かぜがまえ)

口

かんによう・うけばこ
ちから

刀(リ)

つつみがまえ

尢(元・允)

だいのまげあし・おうによろ

小

しょう・しょうがしら

寸

うかんむり

子

おんな・おんなへん

女

ここへん

夕

だい

夕

ゆうべ・ゆう

夕

すいによろ・なつあし

士

ふゆがしら・ちによろ

士

さむらい・さむらいかんむり

口

くち・くちへん

口

くがまえ

又

つち・つちへん

又

また

又

む

又

また

山(巾)

山(川)

工

己(巳・巳)

巾

干

幺

广

廴

井

弋

弓

彳(互・彳)

彳

彳

心(卜・小)

【四画】

心(卜・小)

戈

戶(戸)

手(扌)

支(攴)

支(攴)

文

しかばね・しかばねかんむり
てつ・くさのめ
やま・やまへん

まがりわ(かわ・さんぼんがわ)
こう・たくみ・たくみへん

おのれ
はば・はばへん・きんべん

かん・いちじゅう
よう・いとがしら

まだれ
えんによう・いんによう

にじゅうあし・こまぬき
よく・しきがまえ

ゆみ・ゆみへん

けいがしら・いのこがしら
さんづくり・かみかざり

ぎょうにんべん・てき

こころ(りっしんべん・したごころ)

ほこ・ほこがまえ・ほこづくり
ととかんむり・とだれ

て(てへん)

し・しによろ・えだによろ
ほくによろ・ほくづくり・とまた(のぶん)

おん・ぶんによう

宛字外来語

外来語の漢字表記をジャンル別に分けて示した。また、日中で漢字表記の違うものについては、付属の「日中宛字対比表」に示した。

【衣料】

カッパ	合羽
カルサン	輕衫・輕衫
サテン	縐子
サラサ	更紗
サントメ	棧留
ジバン(ジユバン)	襦袢
シャツ	襯衣
シヨール	搭搏
ハンカチ	手巾
ピロッド	天鵞絨
フランネル	布羅涅兒
ベツチン	別珍
メリヤス	莫大小
モール	莫臥兒
モスリン	毛斯綸
ラシヤ	羅紗
リネン	麻布
レース	小縁
エキス	粵幾斯

カタル

ギプス	加答兒
ケロイド	祇布斯
コレラ(コロリ)	蟹足腫
ジフテリア	虎列刺・虎狼痢
ストリキニーネ	実布垚里亞
チフス	私的列幾泥捏
ベスト	窒扶斯
ミイラ	黑死病・百斯杜
モルヒネ	木乃伊
ヨードチンキ	莫爾比捏
リユーマチス	沃度丁幾
リンパ	儂麻質斯
【音楽】	淋巴
アコーディオン	手風琴
オルガン	風琴
オルゴール	自鳴琴
チャルメラ	哨呐
ハーモニカ	口風琴
バイオリン	提琴
ピアノ	洋琴
【化学】	
アルカリ	亞爾加里
アルコール	亞爾箇兒
アンモニア	暗謨尼亞

ウラニウム	烏刺紐母
エーテル	亞的兒
オゾン	阿翼
ガス	瓦斯
カリ	加里
カルキ	加爾基
カルシウム	加爾叟母
コバルト	箇拔爾多
セイミ(化学)	舍密
ダイヤモンド	金剛石
タンニン	单寧
テレピンゆ	帝列並油
トパーズ	黄玉
ナフタリン	那布多林
マグネシウム	麻僂涅叟母
マンガン	滿俺
メタン	沼氣・泥氣
ヨード	沃度・沃顛
ルビー	紅玉
【宗教】	
イスラム	伊斯蘭
カトリック	加特力
キリシタン	吉利支丹・切支丹
クリスト	基督
ダイウス(テウス)	提宇子
ダライラマ	達賴喇嘛
パレン	破天連・伴天連
バプティスト	信洗礼宗

バラダイス	把刺題斯
バラモン	婆羅門
パンチエンラマ	班禪喇嘛
ビユーリタン	彪力單
ブツダ	仏陀
プロテスタント	普礫的斯当多
ペーダ	吠陀・韋陀
マニキョウ	摩尼教
マホメット	馬哈默
ミサ	弥撒
メソジスト	美蘇治斯的
モスク	模斯結
【植物】	
アカシヤ	金合歡
アロエ	蘆薈
エニシダ	金雀兒
オリーブ	阿利機・橄欖
オレンジ	甜橙
ガジュマル	榕樹
カボチャ	南瓜
キャベツ	甘藍
コスモス	秋桜
サフラン	番紅花・泊夫藍
サボテン	仙人掌・霸王樹
ザボン	朱欒
サルビア	来路花
ジャスミン	耶悉茗・素馨
セロリ	塘蒿